ハモコミとは「ハーモニーのあるコミュニティづくり」という弊社の社是の略。
一人ひとりが自分を輝かせ、その集まりが全体として調和しイキイキしている様。
会社ではツールで、この通信ではネタ話で、側面からそれを応援します。

発行　株式会社壱岐産業
〒981-8006
仙台市泉区黒松2-16-12
責任者　長谷川嘉宏
バックナンバーご覧いただけます
https://iki-sangyo.co.jp

新型コロナウィルスと共に生きる、そういう覚悟が必要なほど長期戦になりそうです。今月もコミュニケーションのネタをお楽しみくださいませ。生活に取り入れたり、仕事で生かすなどしていただけると本望です。

◎名作に学ぶ

1962年に日本で上映されたアメリカの映画「ハスラー」は、アカデミー賞の撮影と美術部門を受賞しました。ビリヤード映画の名作といわれています。

名優ポール・ニューマンが演じるエディという若き天才プレーヤーは、15年間無敗を誇る伝説のプレーヤー、ミネソタ・ファッツに闘いを挑みます。

序盤はエディの若さと天才的閃きによるプレーで、ファッツを圧倒します。エディはワンゲーム取る度に勝利の美酒と称し、酒をあおります。

一方のファッツはワンゲームが終わる度に手を洗い、身だしなみを整えて次のゲームに臨みました。その後、40時間に及ぶ攻防の末、エディは完膚(かんぷ)なきまでにファッツに叩きのめされてしまうのです。

「勝って兜の緒を締めよ」という諺があります。成功したからといって気を緩めず、さらに心を引き締めて取り組みなさいという意味です。

物事がうまく運ぶと有頂天になりがちです。しかし、喜び過ぎれば心が乱れ、次に失敗を招きかねません。成功した時こそ、気持ちを引き締めたいものです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

＜コメント＞

私の青春時代には、トム・クルーズとポール・ニューマン主演の「ハスラー２」が話題になっていました。どちらも観てませんが(笑)。

このコラム、短い文字数ながら映画の肝の部分を上手に切り取っていますね。とても興味を惹かれましたし、思わず「ハスラー２」も含め、あらすじを読んじゃいました。言葉は人を動かしますね。

さて、短期戦であれば才能だけでもなんとかなるが、長期戦となると、その人の心のありよう、心の整え方、そして人間性そのものが勝負のゆくえを左右する、ということでしょう。本当にそうだなぁ、と思います。

今、私たちが直面している新型コロナウィルスとの闘い(？)もまさに長期戦。そして、それよりもっと長い「人生」という超長期戦にいかに向き合っていくか。

長いといっても１日の積み重ね。「今」を正々堂々真摯に生きる！ですね。

◎ハチクマの世界

タカ科の渡り鳥である「ハチクマ」は、蜂を食し、姿がクマタカに似ていることからそう呼ばれています。

ロシアなど北方地域で繁殖し、日本やアジア方面に渡り越冬します。詳しい生態は不明なハチクマですが、仲間と助け合う面があることが知られています。

自然界は弱肉強食の世界です。例えば、鳥の中には、雛鳥であっても、餌にありつくために、元気な雛が弱い雛を巣から落とすことがあります。しかし、ハチクマの雛は争うことがなく、親の与える餌を順番に食べます。

また、親鳥たちも同様で、大きな蜂の巣の攻撃に成功した場合、仲間同士で争ったりせず、他のハチクマたちと共に巣の中の幼虫や蛹(さなぎ)を食べるのです。

傷を負えば餌をとれなくなり、命に直結する厳しい世界にあって、共存の鳥だからこそ、ハチクマは餌にありつき生き延びることができます。

自然のサイクルの中で、鳥や獣たちは様々な術(すべ)を使って生きています。共に支え合うという一面に注目したいものです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

＜コメント＞

弊社は、蜂対策・熊対策の商品を販売しています。

それなのに不覚にも『ハチクマ』という鳥がいるとは知りませんでした(苦笑)。

従順で協調性があり、共生社会のお手本のような鳥ですね。自然界は参考事例の玉手箱です。

全都道府県に緊急事態宣言が出されている今、この状況のどういう面に着目すればいいのか？　大自然から何を学んでいけばいいのか？

自分のこと、家族のこと、仕事のこと、職場のこと、社会のこと、世界のこと…。う～む…。一番苦手な『我(が)を抑える』、かな…。。。

少なくともハチクマに負けてはいられません。

オンライン飲み会というのも悪くないですね。
すでに３回やりましたが、みんなの顔を見ながら全員が１つの話題でお酒を楽しめるのが何より。

CDプレゼント

去年の7月号と同じですが、こういう時期だからこそのCDをプレゼントします。

笑い、感動、拍手の渦、1300人を虜(とりこ)にした名講演。村上和雄氏「人間力を高める スイッチ・オンの生き方」です。

世界的遺伝子学者でありながら、吉本興業とコラボ研究するという村上氏。どうぞご遠慮なくお申し込みください。

現場をイキイキ 株式会社 壱岐産業 ツールDEスイッチ ON